

広報・教育部門

普段は見えない下水道工事を「見て理解」 ～地下のカメラと地上の大型モニターで工事の様子を見える化～

宇都宮市上下水道局

受賞事例の概要

下水道工事の様子を市民の皆さまへわかりやすくお伝えするため、管内に設置したライブカメラの映像を地上の大型モニターに映しました。

「管更生工法」による耐震化工事の施工状況をリアルタイムで公開し、どなたでも地上からご覧いただけるようにした取組です。

1 地下を撮る



管内カメラから
施工状況をライブ中継

2 地上で映し、市民へ伝える



管内施工をリアルタイム公開
誰でも現地で見られる取組は全国初

3 検査にも活用



発注者による
段階確認の様子

PR動画
公開中



PRポイント！

地下の厳しい通信環境や、交通開放に伴う日々の機器の設置・撤去など、現場特有の制約に対応し、管内映像を安定して配信できる仕組みを構築しました。市民向けの工事広報をはじめ、地上と管内の情報共有、遠隔検査・段階確認にも活用することで、通常の施工体制の中で継続できる、下水道工事の「見える化」を実現しました。

取組の効果！

これまでも、施工方法を記載したパネル等を設置しわかりやすい広報に努めてきましたが、大規模な道路陥没事故を受けた対策検討委員会における「見える化」の提言を踏まえ、下水道工事の内容やその必要性をリアルタイムで視覚的に伝えることで、下水道が市民生活を支える重要な生活基盤であることへの理解促進に寄与しました。

Key Person



市監督員 宮田技師

地下の工事は実態が見えにくく、市民の皆さまへ工事情報をお伝えする周知・広報の難しさを痛感していましたが、モニターを通して視覚化することで、工事の重要性や「見えない場所」で街を支える人々の想いが可視化され、下水道インフラへの理解と信頼が深まったと感じています。